

1月
行事予定



※感染対策にご協力の上、法要にご参加いただけます。
(感染状況に応じて、変更する場合がございます)

今月のご縁日 大根まつり

大般若法要を執行致します。本年は3年ぶり開催となり、風呂吹き大根の配布の代わりに、ゆず味噌とお下がり大根を法要終了後お持ち帰りいただきます(先着1000名)

講金
2000円也

1/7
土曜日
11:00~



※お神酒の振る舞いは本年も中止となります。

寺務所にて受付中



ひやくみこう 百味講

聖天様にたくさんのお供物をお供えして感謝の意を表し、さらなる功德を祈念する百味法要を執行いたします。

講金
1500円也

1/20
金曜日
11:00~

籠供物受付中(2,500円)

寺務所にて受付中

月間行事

初詣

元日(日)
午前0時開堂

三が日午後1, 2, 3時より特別祈禱を行います。
令和5年もお屠蘇接待は中止いたします。

朝まいり会

1月8日~14日
午前8時~8時半 会費:500円也

1週間のうちで、ご都合のよろしい日にご参加ください。

事前予約が
不要になりました。

※感染対策にご協力の上、法要にご参加いただけます。(感染状況に応じて、変更する場合がございます)

写経の会

1月15日(日)
午前10時、午後1時 会費:500円也

令和5年より第二日曜の午前午後の2回開催に戻ります。

※1月開催は第3日曜となります!

写経のご予約は毎月15日より **080-7419-1297** まで。

坐禅の会

1月28日(土)
午前9時半~10時半
会費:500円也

合同大般若法要

1月25日(水)
午前11時 会費:5000円也

皆様と一緒に上げする御礼の法要です。

ライブ配信も行います。
そちらもどうぞご利用ください。



「謹賀新年」

住職
平田真純

いちよう

2023年01月号

令和4年12月20日発行/No.361

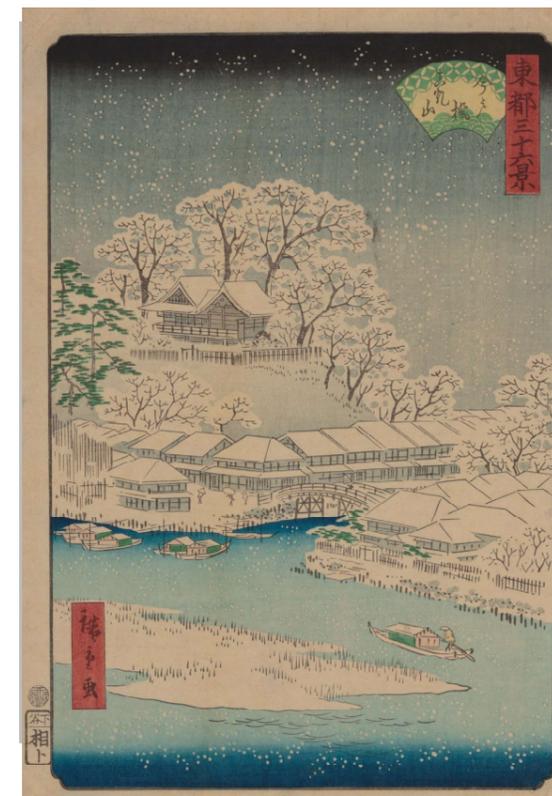
発行所:待乳山本龍院

111-0032 東京都台東区浅草7-4-1

03-3874-2030

四季折々の風情がある待乳山ですが、この季節、かつては雪見の名所としても有名でありました。江戸時代には多くの浮世絵にも描かれました。

この画は、東側から見た雪景色の待乳山です。素人目ではありませんが、真っ白な雪化粧の中、所々に見える緑は良いアクセントになっており、厳しい寒さの中の若干の温度や力強い生命を感じることができて、聖天様がくださる活力を表現しているのではないかとさえ考えてしまいます。作者の色彩感覚の素晴らしさではないでしょうか。



そして料亭や町屋の並ぶ中にそびえる山上の本堂には威厳のようなものを感じます。この日にこの地を訪れた人は、美しい雪景色と凛とした本堂を眺めて感動したことでしょう。そして聖天様の、あるいは神仏の存在を知るきっかけにもなったかもしれません。

当時から、待乳山は雪見だけでなく、花見、月見の名所でもあります。美しい景色に魅了されながらご本尊とご縁を結ばれた方も多いのではないのでしょうか。全国には、いわれのある場所や観光名所などと神社仏閣が一体となった地が数多くあります。というよりも、名所には必ず神仏が祀られているといってもよいでしょう。

自身の心が和み、神仏が親しみやすく近い存在に感じることによって、良心、仏心、生きる道しるべが示されることでしょう。令和5年、歴史の大きな変化、うねりの中、緊張感の中にも慈悲心を忘れないようにしたいものです。



皆様からのご質問、お知りになりたいことを受け付けております。
ご意見やご質問は ityou@matsuchiyama.jp までメールをお送りください。





「令和5年正月行事案内」

「正月特別祈禱」

日時：正月3ヶ日 午後1時、2時、3時 祈禱料：3000円

新年の開運をお祈りいたします。3ヶ日各日3座行います。内陣でのご参列は各座定員を20名までといたします。寺務所にて受付状況をご確認ください。



「毘沙門天の特別拝観」

日時：元日～15日

正月恒例毘沙門天様を内陣にお祀りし、拝観いただけます。



「山門改築」

2月より参道入口の山門を改築いたします。工事中、お参りにご不便等をおかけする場合がございます。ご了承ください。勸募は1月より開始いたします。詳しくは、趣意書をご覧ください。

写経の会より

【今後の予定】

1/15(日)	2/12(日)
10:00～ 13:00～	10:00～ 13:00～

令和5年の開催より第二日曜の午前午後の2回開催となります。引き続き人数制限を行い、事前の予約が必要です。安心してお写経に参加いただくために会員の皆さまにはご理解いただきますようお願い申し上げます。なお、1月の開催は1/15(第三日曜)となります。ご不明な点がございましたら、寺務所までおたずね下さい。

◀ 行事報告 ▶

「御畳講 報告」

冬の訪れを感じる寒さが連日続いた11月20日(日)御畳講大般若法要を執行いたしました。また翌日より本堂内の畳替えを行い清々しいお正月を迎える準備ができました。ご信徒の皆様、御志納をありがとうございました。



「いちょう掃除の会 報告」

11月27日(日)有志のご信徒の皆様のご奉仕で境内いちょう掃除を行いました。強風などの影響により例年より葉の落ちが早く、寒さの中、尊天様への報恩感謝の一心でよい汗を流されておられました。



「写経供養会 報告」

11月13日(日) 写経の会に参加された方々が書された1年分の写経をご宝前に供え、供養致しました。



「七五三 報告」

ご宝前にて無病息災を祈念し、行者よりお加持を授かりました。皆様の健やかなご成長をお祈り申し上げます。

11/13 谷本美結さん(7才)

11/27 今道優心さん(5才)



11/13 栗原涼羽賀さん(5才)



11/13 清水啓太さん(5才)



11/13 上嶋勇翔さん(5才)



11/26 尾崎葉乃さん(7才)



11/19 西入千代さん(7才)
西入茜杏さん(7才)
西入耶慧さん(3才)
西入暢哉さん(3才)



～山門(さんもん)～

山門や鳥居は結界(けっかい)を意味し、門をくぐる際、一礼をしてこれから神様や仏様のお側でお参りさせていただくにあたって挨拶をする場所であり寺社仏閣には必要不可欠な建物です。

先月号にて、ご案内した通り6月には完成予定の門は3月に本格的に工事が始まります。現在の姿はあと少しで見納めとなります。是非、それまでにしっかりと目に焼き付け、新たな『門構え』を楽しみにお待ちください。

これまで何気なくくぐっていた門をこの機会に改めて意識していただければ幸いです。

